

【史料】

「町内記録」にみる近代京都町自治の変遷（二）

——手洗水町における大正・昭和戦前期——

西村 卓
奥田 以在

解題・凡例

「町内記録」（表紙）昭和四年二月廿三日） *以上、前号

「町内記録」（昭和五年一月三日）裏表紙） *以上、本号

*本稿は、平成三三年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究（C））研究題目「近代京都における住民自治組織Ⅱ「町」の基礎研究」）における成果の一部である。

凡例

- 一 資料の翻刻にあたっては、適宜句読点を付し、漢字は常用漢字を原則とし、それ以外の漢字は原文通りとした。
- 一 略字、合体字、異体字は、ひらがな、カタカナ、常用漢字体に直した。ただし、変体仮名の而、江、者および而已は、その字

「町内記録」にみる近代京都町自治の変遷（二）（西村・奥田）

体を残し、字のポイントを落とした。

- 一 底本で判読不能な文字がある場合は、その字を□で示した。
- 一 抹消された箇所はその部分は——で消し、訂正がある場合はその右傍に訂正された文字を付した。
- 一 朱書は、その箇所を「」で囲み、「朱書」と傍注した。
- 一 翻刻者の附けた注記は、すべて「」を付した。

昭和五年一月三日午後五時より、八新席ニ於て親睦会催す

出席者十二名 欠席 (山口氏
糸重氏 御兩名)

組長 平井

委員 古田

(挿入感)
一 昭和五年参月十八日

彼岸施餓鬼 袋中庵ニ於テ勤ム

参詣者 安田 太七様 菅 昌之助様 古田万次郎様

斎藤和三郎様 井上 雄三様

坂東店員様 田中 利八様 平井

以上八名

後席平ノ家席一人式円詔へ、諸経費金式拾五円八十銭

同年四月十六日、八坂神社千度祭執行ス

出席者	安田 太七様	井上 雄三様	丸二商店様
	田中 利八様	古田万次郎様	坂東商店様
			平井 以上七名

他二小兒付添へ共
十五名

平ノ家席ニ於て会食ス、大人式円詔へ
小人七十銭弁当

経費金參拾參円三十五銭 ㄱ

本年度ヨリ町用人廢止ニ付、春秋之施餓鬼及ビ御千度共、後席藤の棚平ノ家ニ相定メ候也
但シ、大人式円也詔へ、小人七十銭祇園弁当

昭和五年上半季決算、六月十九日平井禎治郎方ニ於テ、町内一同会合帳簿調査ス、現在町財産、左之通り
貸方

- 一 金五千貳百七拾六円八十銭 井戸積立金在高
- 一 金四拾六円八十二銭 町費積立金
- 一 金七拾參円八十二銭 利子及ビ利札

計金五千參百九拾七円四拾四錢也

借方

一 金參百貳拾円四拾貳錢

一 金五千〇〇壹円九十三錢

一 金七拾五円〇九錢也

計金五千參百九拾七円四拾四錢也

銀行預金

市公債保管預ケ

現金在

一 金貳百四拾參円〇參錢也

親睦會費積立在高
本年五月ヨリ坂東氏退會

右親睦會費ハ、町財産と別途ノ積立ニ付、今回切離し、山口銀行へ預金、平井禎治郎保管ス

尚、街燈費口座を廢し、今後町費口座へ併合記入之事

右通り協議決定候也

安田太七様 田中 利八様

松田道作様 古田万次郎様

井上雄三様 菅 御店様

御一覽願候也

平井禎治郎〔朱書〕〔印〕

親睦會新御入會者、左記御二名

富野和三郎様

永坂重次郎様
合計十五名也

昭和五年下半年決算報告

貸方

五千四百拾壹円〇一銭也

百〇円参拾参銭也

計金五千五百拾壹円参拾四銭也

借方

参百九拾四円三十三銭也

五千壹円九拾参銭也

百拾五円〇八銭也

計金五千五百拾壹円参拾四銭也

右之通り御座候也

十二月廿六日

御出席者

井戸積立
町費積立

銀行在

市公債

現金在

組長 平井（朱印）

安田 太七様 菅御代理様
古田万次郎様 永坂重次郎様

昭和六年次番組長

安田太七様

衛生委員

菅昌之助様

同 平井禎治郎〔朱書〕
〔印〕

十二月十六日

右之通り、決定仕候也

昭和六年前半期決算報告

貸方

五千五百四拾四円四拾銭

九円廿八銭

ノ五千五百五拾参円六十八銭

借方

五千〇〇老円九十参銭

四百式拾七円七拾式銭

百式拾四円〇三銭

井戸積立

町費積立

市公債

銀行在

現金

松田 道作様
田中 利八様

以上六名

〆五千五百五拾参円六十八銭
右之通りに御座候也

六月十六日

出席者

組長 安田

古田 万次郎

井上 雄三

平井 禎治郎

松田 道作

菅 昌之助

尚、会議決により七月より街燈費一割引下げ式百ワットニ直す

昭和六年下半年期

六月廿一日 本校々長塩見静一先生逝去

同 廿八日 町総代として校葬にお手伝に行く

十月 十日 本校新築落成式に参列す

十月廿一日 当学区に御真影を拝載す

昭和六年下半年期決算報告

貸方

一 金五千五百四十三円六十銭

井戸積立

ノ

一 金五千五百四十三円六十銭

借方

一 金四千八百八拾五円五十八銭

市公債

一 金五百五十八円〇九銭

銀行預金

一 金九拾九円九十三銭

現金

ノ

一 金五千五百四十三円六十銭

右之通りに御座候也

組長 安田太七 〔朱書〕

平井 禎次郎

菅 昌之助

田中 利八

井上 雄三

古田 万次郎

株式会社丸二商店

糸重商店

十式月十四日

尚、決議により組長を菅様へ御願ひ致し、委員を拙籤により平井様、井上様に当り御願ひした

昭和七年六月十五日、本年上半期決算現在町財産左ノ通り

左記

(貸方)

一金五千五百四拾參円六拾錢也

井戸積立金在高

一金參拾四円六拾壹錢也

町費 同

一金參拾六円八拾七錢也

街燈費 同

一金壹百參拾參円七拾九錢

利子及利札

計金五千七百四拾八円八拾七錢

(借方)

一金四千八百八拾五円五拾八錢

保管預市公債

一金六百九拾壹円八拾八錢

銀行預金残高

一金壹百六拾六円四拾壹錢

現金在高

一金五円也

臨時費

計金五千七百四拾八円八拾七錢也

右之通り帳簿引合候也

六月十五日

菅 昌之助

立会

安田 太七
平井禎治郎
田中 利八
井上 雄三

昭和七年五月、齋藤和三郎殿御転居、左記へ

転居先 京都市上京区出雲路立テ本町一〇三ノ二

電話 上五六三〇番(但、小学校ノ東南方、出雲路橋西詰北人)

川島与三郎殿自宅、左ニ

滋賀県栗太郡瀬田町字社人堂

昭和七年八月八日、従来町内ニ保管預リ中ノ祭例用

裱 新、旧、 各巻着

帷子 巻着

右自今学校ニテ預ルベキ趣ニテ、返付方申越ニ付、本日学校へ一先ツ返還ス

昭和七年十二月十五日、菅昌之助方ニ於テ本年下半年決算ヲ行フ、町内一同会合、諸帳簿ノ点検ヲ為ス、現在町財産左通り

貸方

一 金五千七百六拾七円貳錢也

井戸積立

借方

一 金七百貳拾七円五拾九錢也

銀行預金

一 金四千九百八拾七円參錢也

債券（市公債）

一 金五拾貳円四拾錢也

現金有高

計金五千七百六拾七円貳錢也

右之通ニ候也

昭和七年十二月十五日

組長 菅 昌之助

立会者左ニ

安田 太七

平井禎治郎

田中 利八

井上 雄三

松田 道作

川島与三郎

古田万次郎

本日決議ニ依リ、組長 井上雄三氏

委員 平井禎三氏、田中利八氏ニ依頼ス

昭和八年六月十五日、本年上半期決算現在町財産

左記

(貸方)

一金五千七百六十七円〇貳錢也

井戸積立金有高

一金八拾壹円七拾五錢也

町費 〃 〃

一金貳円五拾貳錢也

街燈費 〃 〃

一金壹百參拾八円〇九錢也

利子及利札

計金五千九百八拾九円參拾八錢也

(借方)

一金四千八百八拾九円六拾貳錢也

保管預り市公債

一金九百六拾參円〇九錢也

銀行預金在高

一金壹百拾壹円六拾七錢也

現在有高

一金貳拾五円

臨時費

計金五千九百八拾九円參拾八錢也

右之通り、帳簿引合候也

六月十五日

井上 雄三

立会者左二

安田 太七

松田 道作

菅 昌之助

田中 利八

平井禎治郎

協議事項

一 昭和八年七月町費集金ヨリ、各戸別町費ヲ會計ノ都合上半減トシ、七月以後此之標準ヲ以テ集金スルコト、ス

一 従来平井禎治郎氏邸内、町内物入小家アリシモ、今回無償ニテ平井禎治郎氏へ譲渡シ、今後平井氏之御都合上取壊シ、或ハ移転等ノ保存ニ差支ナキ限り、無償ニテ器具御預願度事ニ協議決ス

昭和八年六月十八日 町内勘定寄合之席、井上宅ニ於テ

一 昭和八年度拾貳月拾六日、組長井上雄三宅ニ本年下半年決算ヲ行フ、町内一同会合一ヶ年間決算報告ス、現在町財産左之通

貸方

一 金五千八百八拾貳円六拾七錢也

井戸積立

借方

一 金五千八百四拾五円六拾貳錢也

銀行預金

一 金參拾七円〇五錢也

現金在高

計五千八百八拾貳円六拾七錢也

右之通候也

昭和八年十二月十六日

組長 井上 雄三

立会人 左二

田中 利八

菅 商店

古田万次郎

平井禎治郎

丸二商店

松田 道作

昭和八年十二月十六日

本日協議之結果 組長 田中 利八

衛生委員 古田万次郎

安田 太七

平井禎次郎

昭和八年十二月二十八日 四歩利公債五千円也 丸二商店ヨリ買入

住友銀行特別当座ヨリ金四千九百五十六円四拾六銭引出

昭和八年十二月三十日 従来町内積立金ハ、町内代表普昌之助名義ニテ住友銀行京都支店へ預金ノ処、本日解約残高帳尻

八百八十九円十六銭、解約利息税引キ式円四十八銭、計金九百零円六十四銭也引当町内代表安田太七名義

ニテ三和銀行京都支店特当預金ス

一 昭和九年度ヨリ街灯費徴収ヲ半減ス

壹月三日 親睦会 安井鶴や

三月十八日 袋中庵ニテ町内施餓鬼 席道楽

四月十日 御千度 席岡山平野や

昭和九年六月十五日

本年度上半期決算ヲ行フ、田中利八方ニ於テ町内一同会合、諸帳簿ノ点検ヲ為ス、現在町有財産左ノ通り也

借方 一 金貳拾壹円拾八銭 町費

一 金九拾五円六拾八銭 街灯費

一 金壹千壹百貳拾貳円五拾五銭 銀行預金

一 金四千九百四拾貳円五拾銭 債券

一 金五拾円拾九銭 現金

〔町内記録〕にみる近代京都町自治の変遷 (二) (西村・奥田)

合計 六千貳百參拾貳円拾錢

貸方

一 金五千八百八拾貳円六拾七錢

井戸積立

一 金壹百〇參円參拾貳錢

利札及利息

一 金貳百四拾六円拾壹錢

親睦会費

合計 六千貳百參拾貳円拾錢

右之通り帳簿引合候也

昭和九年六月十六日

組長 田中 利八

平井禎次郎

菅 商店

井上 雄三

古田万次郎

寺井 吉次

(決算後) 席美濃吉 (拾円補助
後ハ自弁)

昭和九年七月。 從來平井禎次郎氏倉庫ニ預ケアリタル町内書類入帳筆筒大一個小壹個及洪紙張箱貳個也ハ、平井氏倉庫取ツプサル、故、井上雄三氏倉庫へ預ケル

昭和九年七月十式日（席）湖月

吉符入

七月十五日 朝

井戸 遥拝式（後）瓢亭（自弁）

七月十八日

親睦会 水青楼

九月八日 平井氏家屋売却の上立退かる

九月廿一日（大暴風）

袋中庵ニテ町内施餓鬼施行

後ノ席円山平野屋

暴風ニテ井戸屋形銅板少シ紛失修理ス

七月祭之時鳥居□垣ヲモタス為銅金物ニテ新調、風ノ為ノ街灯之破損モ直ス

昭和九年十二月十五日

本年度決算ヲ田中利八方ニ於て行ふ

借方

一 金貳百〇九円十八銭

町費

一 金百八拾九円九十八銭

街灯費

一 金八百拾六円三十一銭

銀行預金_二三

一 金四千九百四拾貳円五十銭

債券

一 金六拾六円九十銭

臨時費

一 金百三拾四円九十九銭

現金

六千三百五拾五円八十六銭

貸方

一 金五千八百八拾貳円六十七銭

井戸積金

一 金貳百拾壹円廿三銭

利子

一 金貳百六拾壹円九十六銭

親睦会積金

木田三十

六千三百五拾五円八十六銭

右之通り帳簿引合候也

昭和九年十二月十五日

総代

田中 利八

松田 道作

井上 雄三

安田 太七

会合之結果、談合にて井上様ニ御総代ヲ御願する事ニナリタリ

衛生委員 安田 太七氏

古田万次郎氏

昭和拾年六月十五日

本年度上半期決算ヲ井上雄三宅ニ於テ午后三時ヨリ行フ

借方

- 一 金貳拾五円四拾七銭 町費
 - 一 金九拾貳円參拾九銭 街頭費
 - 一 金五拾五円 臨時費
 - 一 金參百六拾六円拾八銭 銀行預金
 - 一 金四千九百四拾貳円五拾銭 債券
 - 一 金參百貳拾四拾八銭 現金
 - × 五千八百〇貳円〇貳銭也
- 貸方
- 一 金五千七百〇壹円〇貳銭 井戸積立
 - 一 金壹百〇壹円 利息及利札

ノ 五千八百〇弍円〇弍銭也

右之通帳簿引合決算候也

昭和拾年六月十八日

(総代) 井上 雄三

田中 利八

古田万治郎

松田 道作

安田 太七

寺井 吉次

六月貳拾五日

古今未曾有之大水害ニテ、家屋浸水及被害甚大極メ、京名物三条五条其他数拾之大小橋梁破壊シ大被害ヲ蒙りたり

七月六日

平井禎治郎氏所有なりし場所ニ京都輸出組合事務所建築中ニ受、本日落成買得移転されたる、当市輸出組合事務所として事務を執られる事となり、町内より買得御祝として金拾円也持参可申

昭和十年度

昭和十年三月十五日、本年度決算、組長井上宅ニ於テ午后三時ヨリ行フ

借方

金壹百〇壹円拾四銭也

町費

金貳百〇九円拾七銭也

電灯費

金壹百円也

臨時費

金參百六拾七円八拾三銭也

銀行預金

金四千九百四拾貳円五拾銭也

債券

金八拾九円參拾四銭也

現金

計 五千八百〇九円九拾八銭也

貸方

金、五千六百〇七円貳拾六銭

井戸積立

同 貳百〇貳円七拾貳銭

利息口利子

小計 五千八百〇九円九拾八銭也

右之通帳簿引合決算候也

昭和拾年十二月十五日

組長

井上 雄三〔朱印〕

右承認ス

田中 利八

安田 太七

松田 道作

丸二商店

古田万次郎

寺井 吉次

会合の結果談合ニテ、安田太七氏組長願^ひム事ニセリ

衛生員 田中 利八氏

古田万次郎氏

昭和十一年度

一月三日 新年宴会 下河原美濃幸ニ於テ

二月廿四日 寺井吉次殿御婚禮ニ依リ、慣例ニ従ヒ御祝贈呈

二月廿六日 野中大尉を首領として、若手将校拾数名の引率の下ニ約壹千名の近衛麻布聯隊の兵卒、岡田首相を始め高橋大臣、齊藤内府、渡辺教育総監、鈴木侍従長の各大官を兇撃する古今未曾有の大事件突発為ニ、帝都ニ香椎中將を司令菅としての戒嚴令下ニ漸ク廿九日ニ至テ鎮靜せしも、東西各市場ハ大混乱ニ陥るを恐れ拾日乃至約拾五日間の休場のやむなきに至れり

三月十八日 春季施餓鬼、於袋中庵、後席八坂美濃利

四月十五日 御千度、於八坂神社境内、後席平の家

六月十七日 本年度上半期決算ヲ安田太七宅ニ於テ午後四時ヨリ行フ

借方

金貳拾六円參拾五錢

町費

同九拾五円參拾四錢

街灯費

同拾円

臨時費

同參百五拾九円〇貳錢

銀行預金

同四千九百四拾貳円五錢

債券

同六拾七円六拾五錢

現金

貸方

金五千參百九拾九円六拾七錢

井戸積立

同壹百〇壹円拾九錢也

利札利息口

計五千五百円八拾六錢

右之通帳簿引合決算仕候也

昭和十一年六月十七日

組長

安田 太七

右承認仕候 松田 道作

井上 雄三〔兼務〕

十一月末日

学校ヨリ東山鎮魂社擴張工事寄付申込アリ、合議ノ上臨時費トシテ町内ヨリ五拾円也寄付申込ヲナス

〔町内記録〕にみる近代京都町自治の変遷 (二) (西村・奥田)

十二月十日

井上久左衛門様御長女順子様(二才)朝七時死去、十三日午前七時密葬、同日午後一時より市内葭屋町下立売上ル真敬寺ニ於テ
寺式執行ヲ回章ニテ町内各位ニ報告ス

十二月廿三日

昭和十一年度中総決算勘定ヲ、総代安田宅ニ於テ午後三時ヨリ行フ、左之通り

借方

一 金貳百五拾九円四拾五銭也 町費不足額

一 同壹百八拾壹円〇貳銭也 街灯費不足額

一 同六拾五円也 臨時費不足額

一 同壹百貳拾壹円四拾四銭也 銀行預金

一 五千四百拾円六拾銭也 債券

一 參拾貳円七拾七銭也 現金

合計 五千七百九拾九円九拾八銭也

貸方

一 金五千五百九拾七円七拾七銭也 井戸積立

一 同貳百〇貳円貳拾壹銭也 利子及利札

合計 五千七百九拾九円九拾八銭也

右之通帳簿引合候也

昭和十一年十二月廿三日

総代

安田 太七

町費、街灯費、臨時費ノ不足額金五百〇五円四拾七銭の井戸積立中ヨリ補助、差引ク利息口ハ積立金ニ繰入、差引金五千貳百九拾四円五拾壹銭 昭和十一年十二月廿三日現在

右承認致し候

田中 利八

丸一商店

井上久左衛門

松田 道作

寺井 吉次

従来学校納メ並ニ街灯費町ヨリ補助ノ処、不足額拡大ノ為町費並ニ街灯費ノ五割増徴集ヲ決算報告後決定ス、「実施昭和十二年度一月分ヨリ」ニ合議ス

会合ノ結果田中利八氏ニ組長御依頼申上候

衛生員井上久左衛門氏、寺井吉次氏

昭和十二年三月廿六日 安田太七氏町内ニ家御売得ニ成リシ故ヲ以テ、町内ニ国庫債券額面金壹百円也ほ号三分半利、一二四三九、壹枚御寄付相成タリ

昭和十二年六月廿八日 上半期勘定

貸方

五、三九四、五 井戸積立

九六、三八 利子

〆五、五〇式、式八 町費

〆五、五〇式、式八

借方

、一二一、〇七 街灯費

九五、三 銀行預金

五、二四〇、六〇 公債

三五、式九 現金

〆五、五〇式、式七 臨時費

右之通りニ御座候也

総代

田中 利八

井上久左衛門

安田 太七

寺井 吉次

七月廿五日 井戸灯籠健藤本ビル証券会社へ預ケタリ

藤本ノ店ノ二階ニ置きアリ

昭和十二年十二月十五日

本年度下半年期決算ヲ行フ

田中利八方ニ於テ町内一同会合、諸帳簿ノ点検ヲナス、現在町有財産左之通り也

借方

- 一 金五千四百四拾貳円四十銭 債券
- 一 金五百拾四円七拾貳銭也 現金
- 一 金四百四拾貳円八十三銭 銀行
- 一 金拾円也 臨時費
- 一 金百拾三円五十一銭 町費
- 一 金壹百參十円六十銭 街灯費
- × 金五千五百九拾円〇六銭

貸方

- 一 金五千三百九拾四円五十一銭 井戸積立
 - 一 金百九拾五円五十五銭 利子利札
 - × 金五千五百九拾円〇六銭
- 町費、街灯費、臨時費ノ不足額ヲ利子及井戸積立中より補助シテ、井戸積立金現在高は左之通り也
- 一金五千三百三拾五円九拾五銭也 昭和十二年十二月十五日 現在高

右承認致し候

昭和銀行京都支店

寺井 吉次

松田 道作

井上久左衛門

安田 太七

昭和十三年度上半季分決算 総代井上久左衛門

借方

一 金五千壹百四拾貳円四拾錢也 公債

一 金壹百円八拾貳錢也 銀行預金尻

一 金四拾貳円貳拾九錢也 街灯費

一 金五円八拾七錢也 町入費

一 金參拾五円七拾五錢也 臨時費

一 金壹百六円六拾六錢也 現金

ノ五千四百參拾參円七拾五錢也

貸方

一 金五千參百參拾五円八拾錢也 井戸積立

一 金九拾七円九拾九錢也 利息並利札

ノ五千四百參拾參円七拾九錢也

右之通帳簿引合決算候也

昭和十三年六月

町内総代 井上久左衛門

右之通承認仕候也

松田 道作

十五銀行

田中 利八

安田 太七

丸二商店

寺井 吉次

六月三十日

支那事變ニ長期抗戰下、一般貯蓄奨励青年学校之充實之為、青年学校寄付金之為、町内各戸ヨリ昭和十三年七月一日ヨリ向三ヶ年半、參拾錢一口寄付ヲ願フコト、セリ、依テ七月ヨリ毎月町費ニ加算受取ルコトトセリ。

三和銀行殿 三口 十五銀行殿 三口

丸二商店殿 二口 昭和銀行殿 三口

田中 利八殿 二口 第百銀行殿 三口

寺井 吉次殿 二口 輸出入協会殿 三口

藤本ビル殿 二口 堀利商店殿 三口
糸重商店殿 二口 松田 道作殿 一口
安田 太七殿 三口 井上久左衛門殿 二口

七月十二日

防空演習実施サル、十二日ヨリ十四日ノ三日間東側班長安田太七氏、西側班長田中利八氏ニ担当サル。

本年八月明倫学区ニ体育振興会カ施行サレ、町内ノ郊外遠足会ヲ励行シ、町内各位ノ体位向上ヲ計ルコトトナリ、左記ノ通り毎月一回遠足会ヲ催セリ

第一回 八月十日 桃山御陵参拝、往復共全員徒歩

第二回 九月二十一日 上賀茂神社参拝↓鷹ヶ峯迄徒歩行程四里

第三回 十一月三日 鷹ヶ峯↓中川村―三尾↓清滝嵐山ニ至ル行程六里

第四回 十二月三日 山崎駅―柳谷観音寺―善峯寺―西向日町迄行程四里徒歩

九月ヨリ警防団ガ学区ニ組織サレ、町内ヨリ左記三名警防団員ニ選定サル

第七班長 安田 太七氏

(堀利商店) 木下氏

井上久左衛門氏

昭和十三年十二月十五日

本年度下半年期決算ヲ行フ

現在ノ町有財産左記之通り

借方

一金五千〇四拾參円八拾貳錢也

公債

一金九拾八円參拾六錢也

銀行預金

一金八拾五円六拾壹錢也

街灯費

一金壹百九円九拾錢也

町入費

一金參拾五円七拾五錢也

臨時費

一金五拾壹円貳拾參錢也

現金

ノ五四二四、六七

貸方

一金五千貳百貳拾九円拾四錢也 井戸積立金

一金壹百九拾五円五拾參錢也 銀行利息及公債利息

ノ五四二四、六七

右之通ニ決算報告候条、御各位之御承認ヲ得テ、左記御署名御捺印候也

昭和十三年十二月十五日調査

行事

井上 〔朱印〕

松田 道作

安田 太七

昭和一四年度

井上氏より公同組長安田二引断^{（イ）}ゲ

一月十四日 新年会を廃し懇親会を清水つるやに於て開く

二月九日 学校より統後後援会寄付の申込あり

芳名録左之通り

参拾円口 丸二商店、安田太七各氏

貳拾円同 井上久左衛門、田中利八、三和銀行、十五銀行、昭和銀行、第百銀行、藤本証券各氏

拾五円同 堀吉蔵氏

拾円同 寺井吉次、糸重商店、松田道作、輸出組合各氏

六月貳日 恩賜財団軍人後援会寄付左通り

五拾円 丸二商店氏

参拾円 田中利八、井上久左衛門氏

貳拾円 堀吉蔵、輸出組合、糸重商店、寺井吉次氏

五円 松田道作氏

昭和十四年度上半期決算

借方

一金五千〇四拾參円八拾貳錢 公債

一同參拾九円三十六錢也 街灯費

一同百九拾七円六拾錢也 銀行預金

一同四拾七円八拾貳錢也 現金

×五千參百貳拾八円六拾錢也

貸方

一金九拾六円貳拾四錢也 利札及利息

一同參拾八円九拾五錢也 町費

一同五千百九拾參円四拾壹錢也 井戸積立金

×五千參百貳拾八円六拾錢也

右之通帳簿引合決算候也

昭和十四年六月

總代 安田 太七

六月廿二日引合

田中 利八

井上久左衛門

丸二商店

松田 道作

昭和十四年十二月廿八日

本年度下半年決算ヲ行フ

借方

金五千〇四拾円八拾弍銭 公債

金五拾八円九拾銭 街灯費

金百參拾七円參拾七銭 町費

金四拾八円九拾八銭 銀行預金

金九拾六円九拾六銭 現金

ノ五千參百八拾六円〇參銭也

貸方

金五千百九拾參円四拾壹銭

「〔米林〕五千百八拾九円七拾銭」 井戸積立

金百九拾弍円六拾弍銭 利息

「〔米林〕金參百八拾五銭」 「〔米林〕利益」

ノ五千參百八拾六円〇參銭也

右之通帳簿引合決算候也

右

十二月廿八日引合セシ処、承引

總代 安田 太七

昭和十五年度公同組長 田中利八

昭和十五年六月九日

聖上陛下 京都へ御台臨午后四時半御着

六月十日 伊七大神宮

六月十一日 橿原神宮

六月十二日 泉山御陵

桃山御陵

御参拝

六月十三日 午前八時御帰幸

四月 銃後奉公会寄付ノ件

参拾円也 安田、丸二、三和、第百

式拾円也 堀利、田中、井上、昭和、藤本、十五、輸出組合

拾円也 寺井、北洞、糸重

五円也 松田

田中 利八
井上久左衛門

合計 貳九五、——

昭和十五年上半期決算

借方

五、〇四三、八二 債券(公債)

四八、九八 銀行預金

二八〇、〇六 現金

〳五千三百七拾貳円八十六錢

貸方

五、一八九、七六 積立金

八、九七 町費

七八、〇三 街灯費

九六、一〇 利子利札

〳五千三百七拾貳円八十六錢

右之通りニ御座候也

総代

田中

利八

松田

道作

糸重商店出張所

井上

雄三

防毒面各戸預

安田、井上、寺井、糸重、丸二、堀利、松田、田中、北洞
祭、井戸ノ前ノ提灯建、糸重預ケ

堀利商店
安田 太七
寺井 吉次
丸二商店

昭和十五年九月廿一日 防空演習用詰所建築シタル処、代金総額式百六拾円程ヲ要シタルニ、左之通り御寄付願タリ

金拾円也 丸二商店

金拾円也 株式会社三和銀行京都支店

金拾円也 井上久左衛門

金拾円也 寺井吉次

金拾円也 松田道作

金拾円也 京都織物輸出組合

金拾円也 株式会社昭和銀行京都支店

金拾円也 株式会社第百銀行京都支店

金拾円也 株式会社十五銀行□□支店

金拾円也 糸重商店出張所

金拾円也 藤本ビルブローカー証券株式会社京都支店

金拾円也 田中利八

金拾円也 堀利商店

金拾円也 丸美商店

金拾円也 安田太七東御店

金拾円也 安田太七西御店

金壹百六拾円也

昭和十五年十二月

大政翼賛会ノ趣旨ニヨリ町内会結成ノ為、本町ハ戸数あまりニ少数なる故、筭町と合併して町内会ヲ設置する事となれり

一、設置協議顛末

昭和十五年十二月四日午前九時より、明倫小学校内協議室ニ於て、公同幹事栗田彰山氏司会の元ニ於て筭町代表数名と相会し、両町併合して明倫烏丸南町会を設置して、翌々日六日午後七時より筭町会所に於て第一回常会を開きたり、八阪神社之神事及町有財産ハ従来之通りニなし併合せず、元々手洗水町を隣組として、烏丸南町第一隣組ノ名称之本ニ町財産を引続く事ニ決セリ

昭和十五年 下半期決算

借方

老七八、一五 現金

貳五二、七一 臨時費

九四、六五 銀行預金

五、〇四三、八二 公債

〆五千五百六拾八円三十三銭

貸方

五、一八九、七六 井戸積立

四九、八五 町費

一三六、三貳 街灯費

一九二、四〇 利札及利息

〆五千五百六拾八円三十三銭

歳出

歳入^〇 町費 九四七、四五 八九七、六〇

街灯費 三二九、六九 一九三、三七

利子 一九二、四〇

臨時費 二五一、七一

右之通り承引致し候也

十二月十六日

松田 道作

安田 太七

丸二商店

藤本 証券

井上 雄三

第百銀行

京都織物輸出組合

北洞 美吉

祖父江商店

三和銀行

十五銀行

堀利商店

氏名 町七割 街灯七 青年学 校後援七 学生 筆墨料 貯金 報国 親睦 会費

井上 二、五二 一、三七 六〇 二、〇〇
北洞 、六四 、六六 五〇 二、〇〇

寺井	、六四	、六九	、六〇	、五〇	二、〇〇
藤本	二、〇五	一、九八	、六〇	、五〇	二、〇〇
安田	一、七七	一、二九	、九〇	、五〇	二、〇〇
糸重	、九四	、九六	、六〇	、五〇	二、〇〇
十五	一、六五	五、一九	、九〇		二、〇〇
第百	二、〇一	二、五八	、九〇		二、〇〇
昭和	三、〇四	二、六六	、九〇		二、〇〇
輸出	一、六二	一、四七	、九〇		
同 二階	一、二〇				
三階	一、二〇				
松田	、六四	、六二	、三〇	、五〇	
安田宅	一、二三	、六九			
堀利	一、六二	、九六	、九〇	、五〇	二、〇〇
田中	、六四	一、二三	、六〇	、五〇	二、〇〇
丸二	二、八三	一、三六	、六〇	、五〇	二、〇〇
三和	一、六〇	二、七九	、九〇		二、〇〇
齊藤	、七〇				二、〇〇
菅					二、〇〇
平井					二、〇〇

「町内記録」にみる近代京都町自治の変遷（二）（西村・奥田）

〔備考〕

昭和十五年十二月十六日 会合ノ結果

隣組会合之件

毎月三日、午後三時半より三十分

一月八七日、時間ハ同様

一月七日 井上氏ニテ隣組、四時ニ開ク

入営者見送りの時、指揮者、寺井

祝詞、文、起草、井上氏

入営者、祝ギ、二円、会長と相談

昭和十六年度全期決算報告

借方

金四千〇拾参円七拾五銭也

公債

金壹千貳百七拾四円四拾六銭也

町入費

金五円也

臨時費

金貳百〇参円参拾五銭也

銀行預金

金四拾六円八拾七銭也

現金

合計 五千五百四拾参円四拾参銭也

貸方

一金五千三百式拾貳円参拾七銭也 井戸積立

一金四拾貳円六拾八銭也 街灯費

一金壹百七拾八円参拾八銭也 利札及利子

合計 五千五百四拾参円四拾参銭也

昭和十六年四月十五日

右之通決算相致し候間御査定相願度候

〔裏表紙〕
「手洗水町」

*前稿(一)三五・三六頁の「八月」に「七カ」の注記をしたが、大正二(一九一三)年は、天皇崩御による「諒闇」ゆえ、祇園会の神事は八月に挙行された。そのため、原文通りとし、注記を削除する。

当代組長 井上雄三記〔朱印〕

(にしむら たかし・同志社大学経済学部)
(おくだ いあり・同志社大学経済学部)